

## 日本人移民や日系人の生活を探ろう

## Key words 暮らし、生活、いみんトランク

## 1 活用する主な展示および資料

- 展示全般
- 「移民カルタ」「紙芝居」「いみんトランク」など



## 2 教科・領域との関連性および総時間数

- 総合的な学習の時間、特別活動
- 全6時間（事前2時間、見学2時間、事後2時間）



## 3 目標

- 日本人移民や日系人の経験や心情、現地での生活について理解しようとしている。【知識・技能】
- 自分の気になったものや調べたいものについて、展示資料の情報から日本人移民や日系人の暮らしや生活の情報を自分の考えとともにまとめ、伝えようとしている。【思考・判断・表現】
- 自分の気になったものや調べたいものの展示資料を探すことを通して、日本人移民や日系人の生活について考えをもち、興味・関心を広げようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

## 4 単元について（教材観・単元設定の理由・資料館活用の視点など）


本活動は、実際に触れたり、操作したりすることができるハンズ・オン教材（いみんトランク）を通して、日本人移民や日系人について学習を進める。

事前学習では、紙芝居や「移民カルタ」を通して、海外移住の歴史や移住者の経験や心情を知り、日本人移民や日系人の存在について理解する。また、「いみんトランク」（詳細は授業づくりのための参考資料）を活用し、ものを通して体験的に海外移住における移住者の経験や貢献の視点から学習を深め、海外移住資料館展示見学への関心や意欲を高めておきたい。

資料館展示では、事前学習で実際に手に取ったものがどこにあるかを探す活動を行う。資料館入り口に存在感を示す「野菜山車」に使われている白菜や大根などの野菜、「萬屋」に置かれているパン、「ハワイへの官約移民」に置かれているアルミ製の弁当箱など、具体的なものが自然な形で学習者と移民の生活などの歴史をつないでくれる。歴史的理解をするには難しさがある発達段階ではあるが、「これは何だろう」という学習者が抱く素朴な疑問や興味がその難しさのハードルを下げるができる。資料館作成の「パスポート」や持参するタブレット端末を活用するなどして記録し、事後学習時でまとめる際に活用することも考えられる。

事後学習では、①「自分が選んだもの」、②「資料館展示のどのコーナーにあったか」、③「そのコーナーでわかったことや考えたこと」についてまとめ、話し合い活動や発表などの対話的で協働的な学習を通して、日本人移民や日系人の生活について理解を深めることができるようにしたい。

## 5 展開計画

流れ	主な学習活動と子ども(学習者)の意識	留意点
事前学習	<ol style="list-style-type: none"> <li>紙芝居「弁当からミックスプレートへ」や「海を渡った日本人」を聞いたり、「移民カルタ」に取り組んだりして、日本人移民や日系人の存在を知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●食べ物を分け合っていた。</li> <li>●楽しそうな生活だけでなく、辛い経験もあったのかな。</li> <li>●どうして野菜や果物で山車を作ったのだろう。</li> </ul> </li> <li>「いみんトランク」を活用し、日本人移民や日系人の生活に身近だったものに触れ、学習意欲を高める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●実際には、どのようなコーナーに展示されているのか。</li> </ul> </li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●言葉や表現が難しい場合には、補足説明などを行い支援する。</li> <li>●自分の調べたいものを決めた学習者には、そのものを通して、どのように使われていたか、どんな生活が広がったかまで広げて考えさせる。</li> </ul>
資料館見学	<ol style="list-style-type: none"> <li>展示の中から自分が調べたいものを探す。</li> <li>見つけたコーナーの資料などから、情報を集める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●農作物→農業を広めようと頑張った。</li> <li>●パン→お店にあったから、よく食べていたのかな。</li> <li>●アルミ製の弁当箱→これを持っていき、暑い中大変な思いをして、木を切ったり、サトウキビを刈ったりした。</li> </ul> </li> </ol> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●語彙や表現によっては情報を読み取ることが難しい場合があるため支援する。</li> <li>●「触れて良い展示とそうでない展示があること」、「写真撮影の可否」などの見学に際して留意する点を押さえておく。</li> </ul>
事後学習	<ol style="list-style-type: none"> <li>①「自分が選んだもの」、②「資料館展示のどのコーナーにあったか」、③「そのコーナーでわかったことや考えたこと」について自分の考えとともに発表する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>●私は一皿に乗っているご飯を選びました。これは「ミックスプレート」といい、紙芝居でも出てきたし、「家庭生活」コーナーにも置いてありました。移民の人たちの「おすそ分け」でできた一つのプレートが今でもハワイで楽しまれていることが分かりました。</li> </ul> </li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●一人で発表が難しい学習者には、(事前学習時からでも良いが)ペアやグループでの活動も考えられる。</li> <li>●記録したもの(写真やレポート)やハンズ・オン教材を提示して、発表することができるよう支援する。</li> </ul>

## 6 学習後の姿

児童の発達段階によって、資料館展示の情報を全体的に捉え、まとめることは厳しさがあるが、ハンズ・オン教材を通して見えてくる日本人移民や日系人の存在や生活から、異文化理解の視点や他者の経験や心情に寄り添う態度が育まれると考える。何より実際に足を運び、教室から飛び出て学習をすることで、学習者が抱く日本人移民や日系人に対する興味や関心を広げることができる。国とのつながりや歴史についての学習を高学年で行う際に、この学年での学習が基盤となることを期待する。

## 7 授業づくりのための参考資料

- JICA 横浜 海外移住資料館(2014)『海外移住資料館だより』特集号(「教育キット『いみんトランク』で資料館を一周してみよう!」)